

SDGsの達成に向けて

私たちが一人ひとりが 出来ること

企画政策課 ☎(88)9111

※エスディエス
「SDGs(持続可能な開発目標)」は、世界各国が2030年までに達成する「世界を変えるための17の目標」です。今月号から、個人でできる身近な取り組みや市のSDGs推進の取り組みなどを紹介していきます。

身近にする取り組み

SDGsの取り組みの一つが、レジ袋の利用削減です。レジ袋の原料であるプラス

チックは非常に便利ですが、自然界では分解されず、海まで流れ着いたプラスチックは、海を汚すだけでなく、海洋生物がエサと勘違いして誤って食べてしまうなど、世界的に

深刻な問題になっていきます。

この対策として、レジ袋の有料化やエコバッグなどの利用があり、SDGsのゴール14だけではなく、ゴール11や12にもつながっていきます。

そのほか「紙パッケージや植物由来の商品を購入する」「食べきれないものは冷凍保存してごみにしない」など、身近で無理なく続けられる取り組みがたくさんあります。

ESD環境教育とは？

市ではSDGs推進の一つとして、市内の小学校を中心として「ESD環境教育」に取り組



ごみ収集車へのごみ投げ入れ体験(第三小)

● 関連するSDGsのゴール

<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>質の高い教育をみんなに すべての人々へ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>住み続けられるまちづくりを 安全に住み続けるために、市民参加型によるまちづくりを実現する。</p>
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>つくる責任つかう責任 持続可能な消費と生産を確保する。</p>
<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>

んでいます。このESD環境教育は、SDGsのゴール4と12につながり、世界中の様々な課題を自分の問題として考え、一人一人ができることを行動に移していくための教育プログラムです。

様々な体験を通してSDGsを学習

ESD環境教育では、様々な体験を通してSDGsを学ぶことができます。

クイズなどを交えた3R学習講座やごみ収集車へのごみ投げ入れ体験、地元の川の水質や、水生生物の調査など、

楽しく学べるプログラムを企画しています。世界で起きている環境問題を身近に捉え、持続可能な社会構築のために行動できる人材の育成を目指しています。

- ※1 Sustainable Development Goalsの略
- ※2 Education for Sustainable Developmentの略。持続可能な開発のための教育
- ※3 ごみを減らし、生かすための取り組み。以下をまとめて3Rと呼ぶ。
 - ▶リデュース 無駄なごみの量をできるだけ少なくする。
 - ▶リユース 一度使ったものをごみにしないで何度も使う。
 - ▶リサイクル 使い終わったものをもう一度資源として活用する。



釈迦堂川にはどんな生物がいるんだろう？(第一小)